



天海大僧正の地 会津美里



舜幸法印と随風

福生寺観音堂絵馬

会津美里町



twitterでもつぶやいてるぞ。
@aizujigen



ボクのかつやくはこのサイトで!

検索 ミサトノ

<http://misatono.jp/>

天海大僧正の史跡をめぐる案内(観光ガイド)は下記までお問い合わせを!

マイカー

新潟	新潟中央IC	磐越自動車道	約70分	新鶴スマートIC	磐越自動車道	約5分	会津若松IC	一般道	約30分	会津美里町
仙台		東北自動車道	約60分	郡山JCT	磐越自動車道	約40分	会津若松IC	新鶴スマートIC	一般道	約20分
東京	川口JCT	東北自動車道	約180分							

鉄道

新潟		JR磐越西線	約140分	JR只見線	13分	会津本郷駅
新宿	浅草	東武鉄道	約125分	会津鉄道	約125分	会津高田駅
東京		東北新幹線	約85分	JR磐越西線	約75分	新鶴駅
仙台		東北新幹線	約60分	JR只見線	28分	

会津美里町観光協会

会津美里町本郷インフォメーションセンター
定休日/毎週火曜 営業時間/8:45~17:45
福島県大沼郡会津美里町字瀬戸町甲3161-1 tel.0242-56-4637



天海大僧正って知ってるカナ?



国指定重要文化財木造天海坐像(日光山輪王寺蔵)

戦国時代の末期から江戸初期にかけて、中央で活躍した天台宗の名僧。

陸奥国大沼郡高田(現在の会津美里町高田)の出身で、父はこの地の土豪・舟木景光、母は会津領主葦名氏の出自。幼い頃に天台宗の龍興寺で得度したのち、各地を遍歴して修学を重ねました。会津を治めた葦名氏に始まり、武田信玄、徳川家康・秀忠・家光に仕え、特に徳川三代には政治的・宗教的な支えとなってきた人物です。焼失した比叡山の復興再建や日光東照宮の造営などに尽力しました。

108歳で没したあと、その功績を称えられ朝廷より「慈眼大師」の名を贈られます。

あいづじげん



会津美里町のイメージキャラクター『あいづじげん』は慈眼大師の「慈悲の心を持って世の中を見る目」の意味にあやからうと名付けられました。どうぞよろしく!



文殊菩薩の申し子生まれる 天文五年(一五三六)一歳
天海さまは両親が文殊堂にお祈りをして授かったといわれ、幼い頃からとても知識欲が旺盛だったと言われています。幼名は兵太郎といいました。

龍興寺にて十一歳で得度す 天文十五年(一五四六)十二歳
天海さまは龍興寺で、十一歳のときに仏門へ向けて修行に入ったのです。天台宗の寺として名高い龍興寺で、名僧で知られる弁譽舜幸法印のもと、随風という僧侶になりました。得度とは、世俗の生活から離れて、僧となって仏道の修行をすることをいいます。



法印

随風花押(日光山輪王寺蔵『王澤不渴鈔』より)

長い修行の旅へ 天文十八年(一五四九)十四歳
天海さまは、十四歳のとき故郷を離れて、仏教だけでなく儒学(中国古代の学問)や、史学(歴史を勉強する学問)、易(古代中国から伝わった占い)などを学ぶために、各地を巡り歩くのです。



会津に戻り、稲荷堂の別当に 天正元年(一五七三)三十八歳
天海さまは会津の領主・輩名盛氏に切望されて帰郷すると、黒川城(今の鶴ヶ城)内にある稲荷堂を、十年近く守り通しました。ここでいう別当とは、僧侶と神職を兼務することになります。



輩名義広を護り、常陸へ 天正十七年(一五八九)五十四歳
磐梯山麓の磨上原の合戦で、輩名義広は伊達政宗に敗れました。天海さまは甲冑に身を包み、義広を護って常陸の国(茨城県北東部)へ落ち延びました。



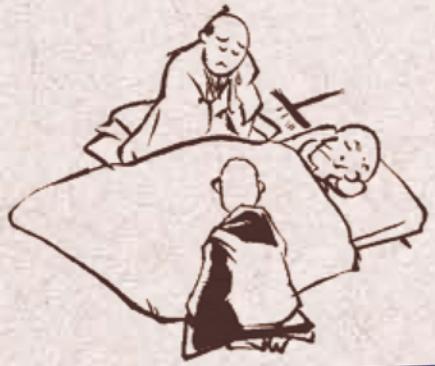
比叡山延暦寺の復興と再建 寛永十一年(一六三四)九十九歳
織田信長により焼き討ちされた比叡山の復興を、天海さまは三代將軍の徳川家光に願ひ出て、再建が始まります。

天海さま、大僧正となる 元和二年(一六一六)八十二歳
天海さまの力を信じてきた初代將軍の徳川家康が、駿府(現在の静岡市)で亡くなった後、天海さまは大僧正となって徳川家のためにますます力を発揮しました。



家光にみとられ、大往生 寛永二十年(一六四三)一〇八歳

天海さまは一〇八歳で遷化(高僧が亡くなること)し、徳川三代が帰依(天海さまの教えを深く信仰して、その力に頼ること)した大僧正の葬儀は、大変盛大だったといわれています。



天海大僧正は108歳まで生きたそうぞ

大僧正天海

天海花押(日光山輪王寺蔵『御遺訓』より)

交通案内

路線バス 会津乗合自動車 ☎0242-22-5555

鉄道 JR東日本 ☎050-2016-1600

天海大僧正 ゆかりの地を じっくり歩こう!



文安年中(1444~49)に一遍上人の弟子長阿弥が開山したお寺ダヨ。ふるさと豊後の「豊後梅」をもって来たのが「高田梅」のルーツとされているんだ

龍興寺は古代蓮の名所、見頃は7月頃だソ。国宝の「一字蓮台法華経」は、一般公開もしているヨ。予約すれば拝観できるんだ

浮身観音八葉堂
天海大僧正木造坐像
舜幸法印の墓
天海大僧正両親の墓

イザベラ・バードは明治期に日本を旅したイギリス人の女性。旅の途中、坂内家に立ち寄ったんだッテ

衣食住をつかさどる神様だネ。高売繁盛もお祈りするヨ

「高田甚句」に「飲めば甘露の味がする」ってうたわれた名水サ

2月25日の文殊祭には学問・技芸上達を願う多くの人が訪れるのサ

明応4年(1495)に玉誉上人が開創したお寺なんだ。国重要文化財の阿彌陀三尊が祀られているソ。※拝観時要予約、問合せは観光協会へ。

法幢寺3世智鏡上人が疫病退散を願い即身成仏した地だヨ

観光ガイドがオススメする 天海大僧正まちあるきコース!

その1 天海さまのルーツを巡るコース ▶ 約2.5km
 門前横丁「美里蔵」→ 伊佐須美神社 → 清龍寺文殊堂 → 会津美里町公民館 → 龍興寺 → 高田城跡 → 門前横丁「美里蔵」

その2 会津美里町の文化財を巡るコース ▶ 約2km
 門前横丁「美里蔵」→ 会津美里町公民館 → 龍興寺 → 法幢寺 → 清龍寺文殊堂 → 伊佐須美神社 → 門前横丁「美里蔵」

高田のまちをあるきながら、観光ガイドがそれぞれのスポットをご案内します。ぜひご利用ください。

問合せ・ご予約は
 会津美里町観光協会 ☎0242-56-4882 FAX0242-56-4876

国史跡 向羽黒山城跡

日本三大山城のひとつ。天海大僧正と縁の深い輩名氏の居城ダ

高田温泉 あやめの湯

あやめの湯

150種10万株のアヤメが咲く庭園は6月中旬からが見頃だソ

あやめ祭りは6月15日~7月5日

あやめ苑

高田インフォメーションセンター ☎0242-54-2333 営9:00~18:00 無休

会津高田郵便局 ☎0242-54-2216

梅林タクシー ☎0242-54-2266

おんば様

高天原公園

あやめ苑

伊佐須美神社

天海大僧正御手植

宮川千本桜

至会津本郷地域



天海大僧正の功績と生涯 — 歴史年表 —



天海大僧正は日本中に幅広く足跡を残してるんだ

国内の動き・会津の動き	和号	西暦	年齢	天海大僧正の主な事項
	天文5	1536	1	現在の会津美里町に生まれる。幼名兵太郎。父舟木景光。母葦名氏。
	同15	1546	11	稻荷堂の別当・弁譽舜幸に随って、龍興寺にて得度し「随風」と名乗る。
会津領主十六代 葦名盛氏立つ(1553)	同18	1549	14	この頃各地へ遊学。天台宗、法相宗の名刹や足利学校に学ぶ。
盛氏、向羽黒山城築城(1561)	永禄4	1561	26	
	元亀2	1571	36	織田信長の比叡山焼き討ちによって、甲斐へ。武田信玄の帰依を受ける。
室町幕府滅亡(1573)	天正元	1573	38	葦名盛氏の求めにより会津に帰国し、稻荷堂の別当となる。約十年在住。
葦名盛氏没(1580)	同10	1582	47	会津天寧寺の仁庵善恕に参上し、禅の教えを受ける。
武田家滅亡/本能寺の変(1582)	同17	1589	54	葦名家、磨上原の合戦で伊達政宗に破れ、二十代義広を護って常陸に落ち延びる。
会津葦名家滅亡/伊達家支配(1589)	同18	1590	55	川越の無量寿寺(のちの喜多院)に行き豪海権僧正に師事し、名を「天海」と改める。この年徳川家康と初対面。
	慶長元	1596	61	師豪海が亡くなり、その法統を継ぐ。
関ヶ原の戦い(1600)	同14	1609	74	比叡山の東塔南光坊に住む。勅命により後陽成天皇に仏法を講義する。権僧正となる。
江戸幕府開府(1603)	同15	1610	75	駿府にて家康のために天台論議を行う。
徳川秀忠 二代將軍就任(1605)	元和2	1616	81	駿府にて家康を看病し、死後の祭祀を遺言される。家康没。大僧正となる。
大坂冬の陣(1614)	同3	1617	82	朝廷より家康に「東照大権現」の神号を賜わる。家康の靈柩を久能山から日光山に改葬。
大坂夏の陣(1615)	同6	1620	85	秀忠、日光山・久能山・喜多院寺領の朱印を大僧正に任せる。
	寛永2	1625	90	東叡山寛永寺の建立に着手。
	同11	1634	99	家光に比叡山諸堂舎の復興再建を願う。
島原の乱(1637)	同13	1636	101	日光東照社の再造堂竣工する。比叡山大講堂が再建される。
	同20	1643	108	病気に臥す。10月2日遷化。
	慶安元	1648		朝廷より「慈眼大師」の諡号を賜わる。

参考：上野寛永寺慈眼大師略年表

比叡山 延暦寺 [滋賀県]



滋賀県大津市坂本本町4220
天台宗総本山。南光坊にて起居し、のち再建に尽くした。

興福寺 [奈良県]



奈良県奈良市登大路町48
法相宗大本山。随風22歳の時、この地で法相三論を修めた。

甲斐 武田神社 [山梨県]



山梨県甲府市古府中町2611
随風が招かれ、帰依を受けた武田信玄の館跡。

医王山 不動院 [茨城県]



茨城県稲敷市江戸崎2737
葦名盛重(義広)が城主の時、随風が第8世の住職に迎えられた。

川越大師 喜多院 [埼玉県]



埼玉県川越市小仙波町1-20-1
55歳の時、ここで名を「天海」と改め、歳27世の法統を61歳で継ぐ。

日光東照宮 [栃木県]



栃木県日光市山内2301
生前に祭祀を遺言され、遷宮を経て徳川家康を祀った地。

東叡山 寛永寺 [東京都]



東京都台東区上野桜木1-14-11
徳川幕府の安寧を祈願し、寛永2年(1625)に江戸城の鬼門に創建。

日光山 輪王寺 [栃木県]



栃木県日光市山内2300
寺内には、天海大僧正の眠る慈眼大師堂がある。

日本各地に残る天海大僧正の足跡

写真提供/遠藤秀一・輪王寺



天海大僧正の生誕地には各説あるけど、会津高田が通説とされているんだ

会津高田に残る 天海大僧正の史跡

天海大僧正石像 Map①

生誕地の斜め向かい、会津美里町公民館の前庭に立つ天海大僧正の石像。地元団体により昭和53年に建立された。



護法石 Map②

舟木景光夫妻が子の生誕を喜び、屋敷地内に祀ったという。天海大僧正が太陽を拝んだ石とも伝えられ、「天一」の陰刻が残る。

慈眼大師御誕生地 Map③

大正13年、舟木館跡に建立された天海大僧正の生誕地をしめす石標。刻字は輪王寺門跡大照円朗大僧正による書。

浮身観音八葉堂 Map④

天海大僧正が10歳の頃に霊夢によって浮目(浮身)の水田の中から発見した観音像を祀る。平成5年にこの八葉堂へ移された。11月3日ご開帳。



道樹山 龍興寺 Map⑤

嘉祥元年(848)開山の天台宗の名刹。天海大僧正が11歳のときに得度し、名を随風と改め3年間修行した。国宝「一字蓮台法華経」でも名高い。(拝観時要予約 ☎0242-54-2446)

天海大僧正

木造坐像 Map⑥

龍興寺本堂の天海大僧正坐像。壮年の頃の姿といい、正徳4年(1714)寛永寺にて開眼し、到着まで会津領内を勧進して歩いたという。



舜幸法印の墓 Map⑦

龍興寺境内、八葉堂の南側にある歴代住職の墓域。天海大僧正を得度させた第29世并譽舜幸法印の宝篋印塔は、5基並ぶうちの中央。

天海大僧正両親の墓 Map⑧

大正4年に龍興寺境内に埋もれていたものが発見され改修、再祀された。一對の五輪の塔で地輪に彫られた「景光」の名が微かに残る。

高田城跡 Map⑨

天海大僧正の母は高田城を居城とした葦名氏の出。築城時期は定かではなく、現在は雷神様を祀る祠が建つ。高田中学校北側に土塁が残る程度。

清龍寺 文殊堂 Map⑩

もと伊佐須美神社奥の院で、子に恵まれなかった天海大僧正の両親が籠り、子を授かるよう祈願した。日本三大文殊の一つ「筆の文殊」。

(☎0242-54-2786)

朱漆金銅装神輿 Map⑪

高田城主葦名盛安・盛常父子が大永6年(1526)に奉納した、優美な室町時代の神輿で国重要文化財に指定。(伊佐須美神社蔵・宝物殿入館料700円、拝観時要予約 ☎0242-54-5050)



Map⑫

天海大僧正御手植樹

伊佐須美神社本殿の東側にあり、天海大僧正が永禄元年(1558)に植えたと伝えられる。幹周4m以上の大樹。福島県緑の文化財指定。



伊達政宗が 天海大僧正に送った書状



元和年間に伊達政宗が天海大僧正(南僧正様)に送ったという直筆の書状(龍興寺蔵)



伊達政宗が、天海大僧正を頼りにしているのがよくわかる手紙です

【訳文】
参上し、お会いしておこころをうかがいたく思いましたが、(天海大僧正には)昨夜以来ご来客があり、お疲れのことと思ひ、お会いせずに帰宅いたしました。天気よく、將軍家の御参内も済み、大慶に存じます。何かの折りに参りまして、あなた様のご意見をいただきます。七月二十五日